

平成10年10月20日 発行



# 議会

—第108号—

ひがしなるせ

# だより



## 響

(10月4日、東成瀬中学校体育館)

### もくじ

- ・こんなことが決まりました……………2～3ページ
- ・一般質問……(伊勢谷政雄 議員) ……5ページ
- ・一般質問……(谷藤 茂 議員) ……6ページ
- ・一般質問……(柳 邦夫 議員) ……7ページ
- ・一般質問……(富田 義行 議員) ……8ページ
- ・一般質問……(佐々木昭次郎 議員) ……9ページ

### もくじ

- ・補正予算の主な質疑……………10～11ページ
- ・村長の行政報告……………11ページ
- ・決算審議の主な質疑……………12～13ページ
- ・請願・陳情などの処理状況……………14ページ
- ・私もひとこと(下田:佐々木堅之助さん)…14ページ
- ・編集室……………14ページ

発行  
東成瀬村議会

編集  
議会広報対策特別委員会

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
☎(0182)-47-2111

# 平成10年度一般会計補正予算

## 賛成7、反対6、の小差で原案可決

秋田栗駒リゾート㈱の資産買い取りに4億5千万円余りを措置

### 9月定例会

こんなことが  
決まりました

九月定例会は、九月七日から十四日までの会期で開かれ、本年度の各会計補正予算や  
条例改正案などのほか、平成九年度の各会計決算認定議案などが提出された。  
さらに会期の最終日には議員発議で、国の機関などへ提出する意見書案が追加され  
これらすべての議案などは、原案可決・承認となった。

### 一般会計補正予算

秋田栗駒リゾート㈱が所有する  
スキー場リフトなどの施設設備資産の  
買い取り予算措置に論議集中

〔この議案の主な質疑応答は  
十十一ページに特集している〕

平成十年度一般会計補正 百六十一万一千円が措置さ  
予算は、総額四億八千五百 五十四万七千円を追加す  
ものとして提案された。  
この補正予算には、村が 出資している第三セクター・  
秋田栗駒リゾート㈱が所有 するジュネス栗駒スキー場  
のリフト二基とその附帯設 備や備品などの資産を買い 取りするための、四億五千  
百六十一万一千円が措置さ  
れていた。  
本会議での一般会計補正  
予算案の質疑はこのこと  
集中して行われ、質疑終  
後には、三人の議員が賛成・  
反対、それぞれの立場から  
討論を行い、採決された。  
この採決は起立で行われ  
賛成七、反対六、の小差に  
よって原案可決となった。



成瀬吹奏楽団も熱演

(東中吹奏楽部定期演奏会)

## 教育委員・固定資産評価審査委員の選任に同意

### 教育委員の任命について

村の教育委員（五人）のうち、九月三十日で任期満了となる二人の委員について、新しく任命することと再任することに同意を求める議案が提出された。  
この人事に関する議案は満場一致で同意となった。

再任された教育委員 佐々木 芳隆（岩井川）  
新任される教育委員 佐藤 良徳（岩井川）



天ヶ沢付近で行われている電話工事

### 固定資産評価審査委員の選任について

村の固定資産評価審査委員（三人）が、九月十九日で任期満了となるため、二人を新任、一人を再任することについて同意を求める議案が提出された。  
この人事に関する議案は満場一致で同意となった。

再任された評価委員 佐藤 利男（岩井川）  
新任された評価委員 藤原 信雄（平良）  
高橋 義明（谷地）

## 臨時議会

去る八月十日に臨時会が招集された。  
提出議案は、栗駒山荘（須川温泉）に電話ケーブルを敷設する工事に関わる契約の承認を求めるものであった。  
この契約案件は、満場一致で原案を承認した。

この契約は、松山台から須川温泉の間に電柱による空中架線と地下埋設ケーブルを使って、電話線を敷設しようという内容であった。大きな貢献が期待される。

この工事が完成すると、これまで無線による通話であったことが改善されて、観光客などのサービスにも大きな貢献が期待される。

この契約の内容など  
契約の相手方 日本電信電話(株) 秋田支店  
契約の金額 九千四百三十七万四千円

## 9月定例会の提出案件と主な内容

- 村教育委員会委員の任命について
- 村固定資産評価審査委員の選任について  
(委員の氏名などは三ページに掲載している)
- 村福祉施設等設置奨励条例
  - ・ 村の中に福祉施設など(医療施設とか老人福祉施設等)を設置しようとする者に対し、「奨励金を交付することができる。」などというものを定める条例であった。
- 村ホームヘルプサービス事業
  - ・ 手数料徴収条例の一部改正
  - ・ ホームヘルプサービスを受ける際の手数料を一部増額改正するという内容であった。
- 村中小企業振興融資斡旋に関する  
条例の一部改正
  - ・ これまでの貸し付け最高限度額を五百万円から一千万円にして、貸し付け期間も五年から七年に延長するという内容であった。
- 村営土地改良事業、中山間地域総合整備事業  
間木地区間木堰整備の分担金徴収について
  - ・ 椿川の間木せき整備にかかる分担金の総額とその徴収方法などを定める内容であった。
- 本年度の一般会計と国民健康保険特別会計の事業勘定と施設勘定、及び老人福祉施設運営特別会計、簡易水道事業特別会計、に関する補正予算案
  - 〔一般会計の歳出に関する主な質疑を十～十一ページに特集している〕
  - 平成九年度の一般会計と二つの国保特別会計、簡易水道事業特別会計、老人福祉施設運営特別会計、老人保険特別会計、に関する決算の認定を求める議案
  - 〔一般会計の歳出に関する主な質疑を十二～十三ページに特集している〕

# ここが聞きたい!!

# い っ ぱ ん し し つ も ん

(一般質問の記事原稿は質問した議員本人が執筆しております)

九月定例会の一般質問には、五議員が登壇し  
次のような事項について、それぞれ村の考えをただした。

## 伊勢谷政雄 議員

- ◇村事業の入札のあり方について
- ◇山菜展示圃の管理について
- ◇村のごみ処理の取り組みについて

## 谷藤 茂 議員

- ◇栗駒山荘の運営について
- ◇ジュネス栗駒(ホテル・スキー場)の運営について
- ◇少子化(高齢化)対策について

## 富田 義行 議員

- ◇第三セクターの経営改善について
- ◇介護保険導入に向け、現行のサービス水準を後退させない決意を
- ◇成瀬ダム建設目的の疑問とアセス調査の経緯について
- ◇高校生通学費の来年度実現を
- ◇水稲減収の心配に応える対策と農業指導センター・農業振興策

## 柳 邦夫 議員

- ◇村の官行造林の状況について
- ◇豪雨災害復旧の対応について
- ◇滝の沢地内の冬期交通対策について

## 佐々木昭次郎 議員

- ◇農業指導センターのその後について
- ◇廃棄物処理について
- ◇栗駒山荘の営業について

いっばんしつもん



岩井川地内で行われている消融雪工事



伊勢谷政雄 議員

# 村の入札は規則に沿ったものか

## 村長 規則どおり実施している

**問** 村の規則によれば、村事業の入札業者に対する通知は入札期日の十日前、急を要する場合は五日前までに通告しなければならない、となっている。

村は、この規則に沿って行っているか。

**村長** 村事業の入札のあり方については、規則に指定されている百三条に基づいた所定の期日を受けて規則どおり実施している。

一般入札の場合ほどなたでも参加できるということが主体であり、指名入札については指名願いを出した業者さん方の中から、村の指名選定委員会での合議のうえで指名業者を選定し、通知して行っている。

### 現場説明から

#### 入札までの期間は

**問** 村事業の現場説明から入札までの期間はどれくら

いあるのか。

今は見積もりなどもパソコン利用などで時間もかからない、とも聞いているが村ではどのように行っているのか。

**村長** 見積もり期間は、五百万円未満は現場説明から入札まで一日以上。

五百万円以上五千万円未満は十日以上。

五千万円以上は十五日以上置くことになっている。

ただ事業の推進上などに事情があるときはそれぞれ五日間短縮することが出来るようになってきている。

このような段取りで業者選定、指名通知、現場説明、入札、落札によって、工事着工となる。

### 入札前の発注は

#### 無かったか

**問** 栗駒山荘のカーテン工事、脱衣室のタイル工事な

どで、入札前の製品発注は無かったか。

これらの工事予算はどれくらいであったか伺いたい。

**村長** 栗駒山荘のカーテン工事の予算額は一千六十万円である。

カーテン・藤製タイル工事については建物との関係、デザイン、色、材質などの関係からの一貫性を持たせるために設計業者が指定している。

カーテン工事については六月二十二日に指名選定委員会を行い業者さんに通知して、二十三日に現場説明、二十五日に入札という段取りで進めていた。

### 見積りの期間に

#### 無理はなかったか

**再問** 栗駒山荘のカーテン工事では、前日に「明日現場説明を行う」という通知が入ったということだった。

そして現場説明をし、一日から二日の期間で入札が行われたという。

今回のカーテンは外国製品でもあり、二日での見積りに無理はなかったか。

またこの見積もり単価は村の予算一千六十万円で出来るような単価ではなかったのではないかと伺いたい。

**村長** 積算に必要な資料は説明の段階で示している。当然専門業者だから調べれば定価は出てくるはず。

あとは業者の努力によっていくらで納入できるか、を決め入札に望むことであり村がどうこう入る余地はないと思う。

従って今回のことについても、外国製品とはいえ代理店があるでしょうから、そういうところから調べていただくことになる。

# いっばんしつもん



谷藤 茂 議員

## 山荘従業員の通勤状況を把握しているか

### 村長 社員は自家用車通勤をしている

**問** 悪条件の道路で事故でも起きたらどうするのか。当初の説明では送迎することになっていたのでないのか。

また土曜・日曜、繁忙期には従業員の補充が必要だと言っているがどのような対応を考えているのか。

**村長** 一人の正規な社員として採用しているし、充分注意してくださることを要請して通勤願っている。

また紅葉の時期の一時などは相当な入り込みがあるものと思うが、何とか応援のパートの方々で対応して恒常的な人件費増にならないように思っている。

### シユネス栗駒スキー場のリフト料金の値下げを

**問** 昨年値上げしたリフト料金を前の料金に、と他市町村からも多くの声がある

が値下げは出来ないか。プランなどの送迎バス購入はどうなっているのか伺いたい。

また、若い有望な職員がポロリポロリと退職してゆくと聞いているが、その要因を把握しているのか。

**村長** 運営委員会の検討会でもいろいろ検討しているが、原則的に一日券の値下げはしない方向で、サービス面でカバーしたいということに進めているところだ。

バスは、今度の十七日に納車されることになっているが、会社のロゴマークを入れることなどで時間がかかったようだ。

従業員の退職はいろいろ調べてみたが、家庭の事情・個人的な事情または人間関係などで退職されたようだ。サービス産業なので大変厳しい勤務状態のことから、

無理な部分もあると思っ

### 自前の送迎バスに看板付けて走るべきだ

**再問** ブランや栗駒山荘のマークを付けた自前の車を三台〜四台準備しても不思議でないと思う。個人営業の温泉ホテルでも自前の看板を付けて目につくように走っているのに、なぜそうしないのかと村民は不思議に思っている。

**村長** いま一台を充足してしばらく様子を見たい。足りない分には借り上げを検討しており、借り上げた車にマークを付けられないか検討してみたい。

自前のバスの台数を増やすことは、全体的な経営方針からも検討の余地があるだろうと思っっている。

### 少子化・高齢化への方向づけを

**問** 少子・高齢化対策に対する村長の考えを伺いたい。

**村長** 要するに「生まれる子どもが少ない」ということ。原因については「結婚件数が少ない」ことなどであらうと思う。

いろいろな場面で交流の場を作ったりして、具体的な対処をし応援しなければならぬと思っっている。

なんとかしていろいろな形で結婚が促進されるよう期待している。

ここ数年の出生者数は、平成七年度が十九人、八年度は二十一人で、九年度は二十二人であった。

十年度は三十五、六人の出生が見込まれることから、多少は好転しているものと思っっている。



送迎バスはフル稼働

# 官公造林跡地の植林計画を伺う

## 村長 Ⅱ 調査のうえ年次計画で植栽する



柳 邦夫 議員



いっばんしつもん

家屋などの移転も順調に進んで…

**問** 官公造林制度は大正九年に制定、以来官民一体となって植林に励み、十四年には六三七町歩となった。しかしここ数十年ほどの間に八割以上を伐採、国からの返地面積は五二八町歩となっているが、この跡地への新規植栽は二一六町歩と約半分以下だ。

「木」は六十～七十年と保育管理に努めた先人の汗の結晶だ。収穫した村長は運が良かっただろうが、売り払っただけでは先祖に申し訳ない。植えて次の世代に引き継ぐ責任がある。

官公造林制度は大正から昭和初期にかけて農村不況対策でもあったと思う。

いまこの不況対策として森林組合作業班などを増員強化し、流した汗に報いる賃金で林業行政に活を入れなければ、個人植林を含め山は荒廃してしまう。

森林の重要性を啓蒙し、水源の村の誇りと責任を示すべきではないか。

**村長** 植林は、村にとって最も重要な事業である。返地の未植栽地、三二二町歩については調査のうえ年次計画で植栽する。今後とも村として広葉樹対策も含めた積極的な植林・造林行政を進めたい。

**災害の対応・処理が遅いのではないか**

**問** 去る八月七日夜半から八日未明にかけての豪雨は、特定地域に集中していた。滝の沢・大日向山系は近年にない出水で、村道・林道・河川護岸などに大きな被害を受けている。

河川災害は、補助事業申請をしてからだと思うが、砂利道の修理は、もう少し早急な対応が可能だと思う。一ヵ月以上も通行不能の

状態は適切でない。

**村長** このたびの豪雨災害では上流奥地域に気を取られて不動沢には目が届かず、部落からの指摘によって調査した、という経緯がある。河川については公共土木災害復旧事業として申請、その査定が十二日と決定したので、これを受けて早急に原型復旧をする。

また村・林道の路面災害についても、早急な復旧を担当に指示をした。

不動沢線は、勾配が急で砂利を入れてもまた流れる可能性がある、わだちを主にした舗装するため天気待ちの状態だと思う。

**滝の沢・下村地内 冬期間の渋滞解消を**

**問** 村の玄関口でありながらも、急カーブと狭い道幅のためこの区間の約二百五十メートルは冬期交通渋滞

の最大のネックであった。待望の改良工事にもメドがつき、家屋移転も順調で来年の冬には解消すると思うが、取りあえず今年の冬の対策を取るべきだ。

電話柱移転の課題もあるが、僅少の経費で砂利を入れれば二メートル程度の拡幅は可能で、中間に待避所も造れる。

このカーブは今までに何回も事故を繰り返して来ていて、交通事故は人命にも関わることから、村単経費での対応も考えるべきではないか。

**村長** 家屋移転の完了で、除排雪作業は大分緩和されるだろうがそれでも大変な渋滞区域なので、応急拡幅も含めて県土木とも協議し、拡幅が不可能な場合でも円滑な冬期交通となるように工夫したい。

# いっはんしつもん



富田 義行 議員

## 高校生通学費助成の来年度実施を

### 村長 Ⅱ 審議会でより良い方向を探る

**問** 高校生通学費助成の実現は、陳情を届けた保護者たちにとって切実な要望だ。村長はその経過を就任前後の村民との接触で充分に感じていると思う。

**村長** 議会の陳情採択を受けてこの要望などを検討する審議会を、七人規模の構成で考え二回ほどの審議をする予算措置をしたが、もし、住民と議会の総意をこれ以上先延ばしするのであれば、当然ながら議員提出の条例案も考慮に入れなければならない。

**村長** 補助金となれば、普生田から松山台までにどういう方法の補助にするか、検討する余地がある。陳情は見ている。議会で採択されたことは重く受け止めなければならないと思う。

通学費助成を行っている他町村のことも参考にして、委員選任中の行政改革審議

会に相談を借り、良い方向を探る。

### 三セク株主、首脳陣の自助努力で経営改善を

**問** 三セク経営分析での問題点、営業計画と改善目標の設定を伺いたい。

開発事業については全体で五十七億六千万円。他にグレンデ整地に関連する柳沢草地開発、道路建設に補助金以外の支出部分で約四億円かけた。

交付税算入があってもその返済負担は大きく、平成十四年度には年間返済額が七億円近くと試算された。下水道や小学校統合などの課題もあり、村が新たな借金で会社所有の資産などを買い取りするというのは安易であり重大なことだ。その具体案も急で、議会に対する説明も不十分だ。栗駒山荘のオープン後は

円滑な経営が出来るようになってのだから、その成果を上げるためにも会社としての自助努力を重ねるのが筋ではないか。村民にもついで先ごろまでそういう説明をしてきたはず。

**村長** 営業の検討では、料金設定のありかた、サービスの充実など、スキー場管理を主に話している。九月二十五日に運営委員会を開くので、指摘の事項も含めて協議する。

売り上げ目標・計画なども早い機会に示す。村による資産買い取りは増資に応ずる株主がなく、会社の初期投資の利払いが多額なため、経営者間や税理士によって検討された。

**山荘の料金設定に割高感はないか**

**問** 栗駒山荘の料金設定に割高感があるとの声がある。

またグレンデンスキーは七月までの売り上げが、約二十四万円、利用者は百四十三人と前年比で三割近くに落ちた。相当の維持費がかかるだけに対策が必要ではないか。

**村長** 山荘の料金設定には注意を払い、運営委員会や株主総会でも検討する。グレンデは厳しい状況で職員配置も難儀な実情もあるが、高校の合宿などの対策を更に図る。

**在宅介護手当の支給制度創設を**

**問** 介護保険導入後も村の現行サービス水準を維持し、保険の対象からはずれた在宅介護手当支給で他町村並の制度創設を求める。  
**村長** 現行水準から後退はさせない。現行の各種見舞金制度などを整理統合、検討する。



大盛況の栗駒山荘



# 農指センター職員とその後の対応

## 村長 農協などと協議しながら進める



佐々木昭次郎 議員



今年も収穫の秋を迎えた

(下田にて)

いっばんしつもん

**問** 農指センター職員が欠員し、農家では非常に不便で困っている。

村長は前に「農協と協議しながら良い方向でやってみよう」と言っているが、農協の会議や田畑会でもその対応については何ら知らされていない。

農協は合併したばかりなので農協だけの営農指導では容易でないと思う。

大変気になる農指センターの運営について、その後どのような協議をしているのか伺いたい。

**村長** 農指センターの会議の中で協議をしている。農協では「技術指導は農協で対応したいが、人員の関係で充分な対応ができていない」という。

そこで農指センターではスタッフなどの面で協力できるところは協力するので、本来の姿でやっていただき

たいと申し入れをしている。今後の方向としては関係機関と協議しあい、分担しあいながら進めてゆきたい。

### 廃棄物処理の罰則規定は

**問** 廃棄物処理法の処罰はいつごろ施行されるのか。

家庭のゴミを水路などに流している現状もあるので村でも条例化してどうか。

またダイオキシンの発生で燃やすことも気になる。農家などではマルチなどの処理を個人でやっている。燃やしてもダイオキシンが出ない製品もあるようだが本当なのか伺いたい。

**村長** 廃棄物処理法は昭和四十五年制定で、罰則規定も適用になっている。農業用マルチ・ビニールも産業廃棄物の対象となる。これらの処理施設は羽後町に二施設あるようだ。

家庭から出るビニールなどのゴミは、農業用機械を有償で収集するのと一緒に収集したらと考えている。燃やしてもダイオキシンが出ない製品もあるようだ。ダイオキシンは蓄積されると大変なので、容器などを生産する段階から有害物質の出ないものを作る、ということを経営的な単位で考えて行かなければならない問題だと思ふ。

### 栗駒山荘の職員採用について伺う

**問** 新しい栗駒山荘は国定公園にふさわしい建物というところもあって、就職の場として村内からもたくさん応募があったと思うが、何人の応募があったか。採用審査はいつ・誰が・

どこで、どのような方法でやったのか。

村の応募者で不足な場合だが、この場合村長の言う村民の目線という公約からすると何か特別条件をつけたい採用になっているのか。

また採用者は大半が村外の人と聞いたが、村外者の採用ということは村営住宅への定住と関連づけがあるのか伺いたい。

**村長** 応募者の総数は把握していないが、村内からの応募者にはほとんど対応したつもりである。それでも不足する分を村外から採用した、と理解している。

採用は、支配人の段階で面接しそれを社長に上げて決定する方法だったと思う。村営住宅と今回の採用に直接的な関連はないものと思っている。

# スポット

## こんな質疑がありました



今冬のスキーシーズンに期待がかかる

今回は4億8千5百万円余りを追加し  
総額38億4千17万千円となった  
平成10年度の一般会計予算に関する  
主な質疑にスポットをあててみた

秋田栗駒リゾート(株)の資産買い取りなどを含む  
平成10年度の一般会計補正予算は  
賛成七・反対六の賛成多数で原案可決となった

### 一般会計補正予算案「歳出」に対する主な質疑

#### 買い取りする資産の 価格はいくらなのか

富田議員 第三セクター・  
秋田栗駒リゾート(株)から買  
い取りする、資産の価格は  
どうなっているのか。

村長 日本ケーブルと秋田  
栗駒リゾートが売買契約を  
していたわけだが、その償  
還額である帳簿価格で買い  
取りをしたいということな  
ので「時価でいくら」とい  
う計算はしていない。

#### 言われるままの価格には 納得できない

富田議員 言われるとおりの  
帳簿価格で資産を購入する  
のではなく、納得ゆく整合  
性のある価格で購入しないと  
笑われるのではないかと。  
村長 要するに「値切れ」  
と言うことだと思うが、初  
期の段階で価格の交渉は終  
わっているのでは、このあと

また、というふうなことは  
どうかと思っている。

#### 増資に対し株主各社は どのような見解なのか

富田議員 秋田栗駒リゾ  
ト(株)の出資各社は、増資に  
対しどのような見解を表明  
したのか。

村長 前の増資計画のとき  
は文書で回答があった。  
今回については株主総会  
などで話をしたが「昨今の  
経済情勢で当社自身も大変  
厳しい状況なので増資には  
応じられない」という口頭  
での回答が主体であった。

#### 見通しが甘かった、と 言明しないのか

富田議員 村民に対し「や  
っぱり見通しが甘かった」  
という言明はしないのか。  
村長 社会情勢・地球規模  
での異常気象といったこと  
に対しての見通し、という

ことになれば甘かったかも  
しれない。

今の事業は今年度で終了  
するし、今後は山荘の経営、  
スキー場の営業努力、こう  
いうことを含めて、全体的  
に経営を好転させる方向で  
一生懸命努力してゆきたい。

#### なぜ無謀な計画を すすめるのか

柳議員 赤字赤字で来なが  
ら、その事業をやめること  
もなく夏スキーだとか遐想  
の森だとか、そういう無謀  
な企画をなぜするのか。  
村長 経営にあたって足を  
引っ張るような事業、利用  
していただくためのいろい  
ろな方法など、これからも  
検討する必要があるだろう。  
そういつたことも視野に  
入れて、なお努力をして行  
かなければならないだろう  
と思っている。

### 今後も現場責任を負わせてゆくのか

富田議員 今こ病気されて三セク全体の支配人さんの回復を願っている。

今後についても現場の最高責任者として、経営全体の責任を負わせてゆくのか。村長 「経営のプロとして三セク全体を見てくれ」とお願いしている。

十月中旬には復帰できると思うので、復帰後はまたきつちりとやっていただけると思っている。

現在は二人の課長が病院と連絡を取り合って協力しとやっている。

### バス運行の経費分析をやっているのか

富田議員 送迎用などのバスを、一台は必要だとして購入することになった。

いまやっているレンタカーによる運用よりも会社がバスを購入したほうが安上がりになると思う。

そういう経営分析はなされていないのか。

村長 会社自体で多額な車を購入するのは、現在の会社の能力から厳しいので、村が電源地域振興センター

の助成を受けて購入、不足分を会社が負担するという計画を進めている。

リースとどちらがいいかは現場で検討させたい。

### 看護系大学誘致状況は現在どうなっている

富田議員 県立看護系大学誘致の、現在の状況はどうなっているのか。

企画課長 今のところ県からハッキリした回答は出ていない。

雄勝地区にとって誘致の効果は大きいものと思うので一生懸命がんばっているところである。

### 心の教室相談員とはどんな事業なのか

伊勢谷議員 中学校に配置する心の教室相談員とは、具体的にどのようなことをするのか。

教育委員会総務課長 中教審の中間報告に基づいて、生徒が心のゆとりが持てるように環境を提供する、というところで、中学校に相談員を配置するものである。

## 行政報告



村長 佐々木 哲男

## 栗駒山荘、順調なスタート!

### 一ヶ月余りで三万人を越えるお客さんが来荘

- ▼七月二十四日から営業を開始した栗駒山荘は、八月末で三万三千人余りの利用者があつて、宿泊客も二千人を越えており定員稼働率が六十九パーセントとなっている。
- ▼今後はこの勢いに浮かれ
- ▼七月二十四日から営業を
- ▼開始した栗駒山荘は、八月末で三万三千人余りの利用者があつて、宿泊客も二千人を越えており定員稼働率が六十九パーセントとなっている。
- ▼今冬はスキー場経営にあたっては、リフト料金・ナイター営業・斜面の造り方・スノーボード対策・各種イベントなどのサービスの充実について検討会を作つて討議をしており、今シーズンにできるだけ反映させたいと考えている。
- ▼第三セクター全体として各事業ごとに売り上げ目標を設定し、それに向かって社員一丸となつて努力することを期待している。
- ▼今定例会には、秋田栗駒リゾート(株)が取得しているスキー場リフト二基のほか付帯設備などを買い取りする予算を計上している。
- ▼これによつて秋田栗駒リゾート(株)の固定負債は解消するが、一方では資産が無くなるわけで、完全な村の資産をあくまで経営する会社となる。
- ▼その購入財源は過疎債を充当するものである。
- ▼過疎債には当然村の自己負担も出てくるが、交付税算入も出ることから全体として有利であると判断をしたものである。
- ▼平成十七年度には会社の累積債務を解消させ、将来の施設更新のための積立金を一般会計に繰り入れる計画である。
- ▼八月六日からの豪雨により長倉・柳沢に農道災害が二件発生している。
- ▼河川災害は、岩井沢川と不動沢川で発生している。
- ▼大柳簡水の災害は応急復旧がなされ、現在は水道供給が行われている。
- ▼樺川の狼沢上流地域では約一九七ヘクタールという広大な区域が「地滑り地帯である」として数年前から調査が行われていた。
- ▼この区域では、地滑りで一時間あたり五ミリメートルの移動があると狼沢橋の付近に設置したサイレンや警告灯で住民に注意を呼びかけることになった。



豪雨による土砂の崩落

# 決算審査

## 一般会計歳出総額 44億円余りを認定

決算特別委員会は「すべての決算は認定すべきものと報告  
本会議では「委員長の報告のとおり認定する」と決定した

平成九年度の一般会計と特別会計五件に関する、歳入歳出決算の審査は議長を除く十三人の議員で構成する特別委員会(委員長・佐藤正次郎)を設置して行われた。  
今号では、九月九日と十一日の二日間行われた審査のうち、一般会計に関する主な質疑を紹介します。

### 一般会計「歳出」の主な質疑

**税務の坪刈り調査のあり方を伺う**

富田委員 税務関係の坪刈りによる収量調査はこの機械を使い、網目の大きさはどれくらいなのか。  
税務課長 昨年は普及所の機械だったが雄勝共済組合の機械を使ったこともある。網目も七と八ミリの両方使って二段書きするなど、その年に空いている機械を使うので確定していない。

**防火水槽用地は買い上げしないのか**

伊勢谷委員 防火水槽用地は無償借地の形だが、買い上げる意向はないか。

住民課長 従来から「用地提供が確保されたら設置」として来たので、買い上げの考えはない。

**ダイオキシンの調査をやるべきだ**

富田委員 沼又の最終処分場のダイオキシン調査をやるべきではないか。  
住民課長 年二回の水質検査は保健所でやっているが、問題のダイオキシンは財政とも協議のうえ予算計上に努力したい。

**外国から来た嫁さんの検診への対応を伺う**

伊勢谷委員 外国から来たお嫁さんが妊婦検診などを

受けるについて、言葉などの支障はないのか。  
健康課長 直接的には医師に委託しているので判らないが、個人差があるようだ。母子手帳は中国語のものがあるのでそれを渡しているが、他にも五カ国語くらいで作られている。

**機能訓練の対象者把握と実施回数などを伺う**

富田委員 機能訓練の対象者はどういった基準で把握しているのか。  
健康課長 脳卒中後遺症の方を対象にして理学療法士による訓練を行っている。今年の前年の一・五倍の十六回を予定している。

**キャンプ場利用者減の対応策を伺う**

高橋委員 須川湖・大柳沼のキャンプ場利用者が少なかったというが、このままずっと行く方針なのか。  
商工観光課長 あちこちにオートキャンプ場や温泉付

**料金値上げは他と比べてどうだったか**

佐々木(昭)委員 スキー場のリフト料金を値上げし



秋晴れの須川湖キャンプ場

# 焦点



議員全員による審査が行われた

たのは失敗ではないか、との声もあるが、他と比べてどうなのか。

商工観光課長 田沢湖より  
ちよつと安いくらいだが、

近隣の公営スキー場よりは若干高くなっていると思う。

## サービス充実とは どんなことか

谷藤(茂)委員 スキー場でのサービスの充実には、どんなことがあったか。

商工観光課長 スキー場の入場者保険を料金に含んでいること。バック料金で格

安なスキー場利用ができることなどがある。

## 温泉のスケール洗浄は 毎年やるのか

佐藤(辰)委員 プランの温泉スケール洗浄は毎年やることなのか。

商工観光課長 源泉からホテルまでの源泉管路のうちスキー場内の管の中にこびり付くので、時々管の中に圧力を掛けてかき出さなければならぬ。

## 環境調査の報告は いつ行うのか

富田委員 動植物の貴重種などの環境調査を委託しているが、最終報告はいつになるのか。

企画課長 増田の成田先生にお願ひし、資料や標本にしている。

## 奨学金の貸し付けは 目的に合致しているか

富田委員 奨学金の貸し付けは、制度の目的に合致しているのか。

企画課長 目的に経済的な理由とあるが、今は申請者全員に貸し付けをしている。

高校生も約百六十五人のうち四十人が借りている。

## 育苗施設工場の 実質作業は誰か

富田委員 育苗施設の工事で、イセキが落札したのに三菱が実質仕事をした、との話があるが本当か。

農林課長 入る機械が三菱の物なので三菱の関係者が技術指導で作業を手伝った、という状況だ。

## 食器と環境ホルモンの 関係をどう考える

富田委員 給食の食器に関する環境ホルモンのことを村はどう考えている。

教育委員会総務課長 食器については過去にもいろいろあって、結局今の素材に落ちついて、現在は多くの学校でそれを使っている。

まだ国や県でもハッキリとした答えが出てないので出たところで、村の対応を考えて行きたい。

## 通年通行に向けた 道路整備の方向を伺う

富田委員 横手東成瀬線のトンネル化を含む通年通行に向けた運動と、国道三四二号の岩井川バイパスとの



待たれる通年通行化

(山内村から岩井川方向を遠望)

関連をどう見ているか。  
建設課長 山内村では自動車道のパーキングインターと絡めて考えているようだ。  
村も山内村との線が有効だとしてこれまで来たので今後この線で進める。  
国道三四二号の関連では「田子内バイパスが完了したら岩井川を」とお願ひはしてあるが、ルートをどこにするかなどは、県と協議して進めたい。

# 私もひとこと

## 村の活性化



下田 佐々木堅之助さん

私も時々議会を傍聴させてもらっていますが、いつ見ても同じ議員さんの質問者の方で、顔を見ただけで「質問の繰り返しか」という議場の空気が強く感じられました。

議員が村を思いその問題  
財政も大変だと思いが、お金をかけて村の宝である若い芽を伸ばしてもらいたい

また大事な若い小中学生の勉強・スポーツについても、村内外に行つて競技し修行することは、将来の自分のためであり基本であり、自信となります。

▽道路整備予算の確保に  
関する意見書

に真剣になつて質問を繰り返して、討論しあつてより良い村政をやることは、村民の期待する声であり議員の目的でもあると思います。そして活性化にもつながると思ひます。

いと常に考えています。私のような年寄りにはこれで終わりですが、前々から心配している少子化対策が最も先決であり、このままでは村に若い人が絶えてしまいます。

▽地方分権推進に関する  
意見書

## 採択と決定した 請願・陳情

みなさんからの  
**請願・陳情**  
このようになりまし

- ▼農家経営が成り立つ米価の保障を求める請願
  - ・秋田県米価対策共闘会議 代表 佐藤長右衛門
- ▼労働基準法の改定に関する陳情
  - ・労働基準法改悪に反対する秋田県実行委員会 代表 藤田實
- ▼秋田県の高等学校図書館に正規・専門・専任の職員配置を要望する意見書提出を求める陳情
  - ・秋田県の学校図書館を考える会 代表 渡部雅子

- ▼第六次教職員配置改善計画の完結と次期改善計画の早期策定並びに義務教育費国庫負担制度の維持についての陳情
  - ・秋田県教職員組合中央執行委員長 川村豊太 他
- ▼過疎地域活性化のための新立法措置に関する意見書の採択方についての要請
  - ・秋田県過疎地域活性化協議会 会長 佐々木清一

## 採択とした陳情

農作物の収穫もトマトは昨年ほどの収入にはならないようで、稲作についても昨年より一俵近く収量が少ないように思われた。三割も転作し価格も下がると言う現状で、農家は何かを光を求めてがんばらなければ良いのだろうか。行政・農協などのリーダーシップに期待したい。

まもなく村の産業祭が始まるが、多くの人から出品してほしいものだ。  
(委員：伊勢谷政雄)

## 編集室

成瀬ダムの環境調査で、イヌワシの営巣とヒナの巣立ちが確認されたが、私たちの村でイヌワシが確認されたという事は、それだけ自然環境が保たれているという証でもある。

いつまでもこの自然を大切に守って行きたいものだ。

今年も栗駒山荘もオープンし、夏場はかなりの賑わいだったようで、秋の紅葉シーズンが期待される。

農作物の収穫もトマトは昨年ほどの収入にはならないようで、稲作についても昨年より一俵近く収量が少ないように思われた。

三割も転作し価格も下がると言う現状で、農家は何かを光を求めてがんばらなければ良いのだろうか。

行政・農協などのリーダーシップに期待したい。

まもなく村の産業祭が始まるが、多くの人から出品してほしいものだ。

(委員：伊勢谷政雄)